



自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

「恩師と27年ぶりの再会」

群馬地方協力本部前橋募集案内所 2等海曹 山口 良明

群馬地方協力本部沼田地域事務所広報官、樺澤1等海曹は、令和6年4月23日（火）に恩師が勤務する県立前橋工業高等学校を訪問しました。

樺澤1等海曹が高校生時代に、県立渋川工業高等学校で、3年間担任教諭であった植木教諭と27年ぶりに再会しました。

現在、植木教諭は定年延長となり、県立前橋工業高等学校で進路指導主事として勤務しています。

27年ぶりに恩師と再会したが、月日が経過しても、先生と生徒の関係は、変わることがありませんでした。

植木教諭から「対面で会うと改めてお互いに年取ったと実感する。教え子が立派に健康で勤務していて安心した」「県立前橋工業高等学校へ赴任してから16年間連続で、防衛省自衛隊へ生徒を送り出しているが、生徒達が一生懸命に頑張り、各地で勤務して活躍していることがとても嬉しい」と話してくれた。

群馬地方協力本部は、これからも担当する学校等との更なる信頼関係を深め、募集活動への更なる協力関係強化に努めていきます。



練習艦「かしま」の体験航海

2等海曹 山口 良明

自衛隊群馬地方協力本部（本部長 防衛事務官 小久保勝之）は、5月8日（水）に海上自衛隊横須賀基地から東京都中央区の晴海ふ頭間で実施された練習艦「かしま」の体験航海に募集対象者4名を案内した。

当日は、天候に恵まれ絶好の体験航海日和となった。

横須賀基地に到着後、練習艦「かしま」に乗艦し、出港前に艦内見学や乗組員からの個別説明が実施された。体験航海では、東京湾をクルーズしながら、「発光信号訓練展示」、「76mm砲操法展示」、「制服ファッションショー」等の艦内イベントが開催され、参加された方は、間近で見る海上自衛隊の装備品等の迫力に、興味津々な表情を浮かべていました。また、募集対象者からは、「海なし県で海上自衛隊を全く知りませんでした。興味を持ちました。」や「小さな時から父親が護衛艦や潜水艦が好きで見学していました。今回、実際に練習艦で体験航海ができて、感動しました。」と感想を話してくれた。

自衛隊群馬地方協力本部は、「今後においても自衛隊の各種イベントを通じて、魅力と理解を図り、一人でも多くの募集対象者を受験に繋げていく」としている。

